

いぬなし

海蔵小学校だより
令和4年2月18日発行

12月にご協力いただいた教育活動アンケートの集約及び考察を行いましたのでご報告いたします。この結果をふまえ、今後の教育活動の改善を進めてまいります。

【児童アンケートの結果】

【肯定回答の割合】

No.	質問	回答割合					昨年比	令和3年度
		■ そう思う	■ どちらかといえばそう思う	□ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない	■ その他		
1	授業はわかりやすいですか。	65%	31%	3%	1%	←	96%	
2	予鈴で学習の準備を始めていますか	40%	43%	12%	5%	↘	83%	
3	先生や友だちの話を一生懸命聞いていますか。	64%	32%	3%	1%	←	96%	
4	自分の気持ちや考えをを分かりやすく人に伝えることができますか。	36%	43%	16%	5%	↘	79%	
5	読書は好きですか。	70%	18%	7%	5%	↘	89%	
6	学年×10分以上、家庭学習していますか。	51%	27%	13%	9%	↘	78%	
7	自分からあいさつができていますか。	60%	28%	9%	4%	↘	88%	
8	学校生活のきまりを守っていますか。	55%	38%	5%	2%	←	93%	
9	だまって最後まで掃ができていますか。	44%	42%	10%	4%	↘	86%	
10	人の気持ちを考えて生活できていますか。	53%	40%	5%	2%	↘	93%	
11	外で遊ぶことは好きですか。	64%	20%	10%	6%	↘	84%	
12	けがや事故など安全に気をつけていますか。	80%	16%	3%	2%	↘	96%	
13	いじめや差別は、どんな理由があってもいけないと思いますか。	89%	8%	2%	1%	←	97%	
14	自分のことを大事に思っていますか。	73%	22%	4%	2%	↘	95%	
15	学校は楽しいですか。	70%	25%	3%	2%	↘	95%	

【児童アンケートの考察及び今後の取組】

- 1「授業はわかりやすいですか。」 3「先生や友だちの話を一生懸命聞いていますか。」 4「気持ちを分かりやすく伝えることができますか」 1は昨年度とほぼ同じ、3は0.3%増加、4は2.7%減少しました。今後も「きくスキル」の徹底をはかる授業づくりとICTを効果的に活用した授業実践を積み重ねていきます。また、4の「伝える力」については、コロナ禍によるマスクの着用で、相手を意識した声の出し方をすることが難しく、また、相手の表情が見えづらことから、伝えることに消極的になってしまう様子が見られました。今後一層、自分の思いを出しやすい受容的な学級の雰囲気づくりに努め、感染状況を考慮しながら、ペア学習やグループ学習などの「伝え合う活動」を充実させていきます。
- 2「予鈴で学習の授業の準備を始めていますか。」は3%の減少でした。予鈴の時点で教職員が声をかける、授業の準備をしてから休み時間にするなど、全校で指導を徹底していかなければならないと考えています。
- 5「読書は好きですか。」は、昨年度より1%増加しました。PTAのご協力による学級文庫の充実や、ボランティアの方々や教職員による全学年での読み聞かせ、図書館司書のブックトーク、読書週間の取組等によりどの学年も読書への興味を持つことができます。国語での「読書に親しむ」時間も大切に、読書活動の更なる推進を図ります。
- 6「学年×10分の家庭学習」は、昨年度から7%減少しました。コロナ禍による休校、オンライン学習など、子どもたちの学習環境が大きく変化したことも影響していると考えられますが、内容や量、質を学年で考え、共有していきます。

○7「自分から挨拶をしていますか。」8「学校生活のきまりを守っていますか。」9「だまって最後まで掃除ができていますか。」については、7は-2%、8は-1.6%、9は-2.1%と、どの項目も減少しました。教室には、ほとんどの児童が元気に挨拶をして入ってきますが、昇降口や廊下、登下校での挨拶は、まだまだ少ないようです。児童会を中心とした挨拶運動を進めるとともに、地域の方への挨拶ができるように、「挨拶の意義やよさ」についても、繰り返し指導を進めます。学校のきまりについては、廊下歩行などが守れていない様子が見られます。掃除については、「そうじがんばり週間」を設け、全体でがんばる雰囲気を作る活動を始めました。今後は、児童会や委員会での取組とともに、「挨拶・きまり・掃除」について自分たちの行動を振り返る時間を設けるなど、指導と取組を強化していきます。

○11「外で遊ぶことは好きですか。」12「けがや事故など安全に気をつけていますか。」については、11は3.6%12は2.2%減少しました。11については、感染症対策により、放課後や休日の外遊びの機会が減ったことや、公園の使用禁止などの状況が影響しているようです。12については、運動の機会の減少による体力低下や体幹の弱体化によって、けがをしやすい状況が生まれていることと、交通安全教室などの学習が制限されたことが要因として上げられます。今後は、体育を中心に体力向上を図り、保健指導や安全指導にも力を入れていきます。

○10「人の気持ちを考えて生活できていますか。」13「いじめや差別はどんな理由があってもいけないと思いますか。」14「自分のことを大事に思っていますか。」10の-2.4%については、オンライン授業に加え、給食は前を向いて黙食、調理実習・理科の実験・グループ活動や密になる活動の制限など、仲間と関わる機会の減少が少なからず影響していると考えられます。今後も制限は続きますが、その分、できる活動や授業を大切に、仲間づくりを進めていきます。13は97.5%が肯定回答ですが、2.5%の否定回答があることを重大に受け止め、道徳の時間だけでなく、あらゆる教科・活動において人権教育を進めていきます。14については、0.6%増加しました。今後も子どもたちが自分を大切に思えるように、褒める声掛けや、学級での居場所づくり・絆づくりに努めてまいります。

○15「学校は楽しいですか。」については、昨年より0.7%、一昨年より3.4%増加しました。学校に来るのが楽しいという子どもたちの気持ちを大切にするとともに、4.9%の子どもが否定的な回答をしていることを学校として重く受け止め、一人ひとりの子どもに目を向け、すべての子が楽しく学校に来られるようにさらに取組を進めてまいります。

【保護者アンケートの結果】 回答率87%

【肯定回答の割合】

	質問内容	回答割合				昨年比	令和3年度
		■ そう思う	□ どちらかといえばそう思う	□ どちらかといえばそう思わない	■ そう思わない		
学校について	1 学校は、分かりやすい授業を行っていると思いますか。	40%	57%	2%	←	97%	
	2 学校は、自分を大切に思う自尊感情や他人を思いやるやさしい心を育てていると思いますか。	38%	59%	3%	←	96%	
	3 学校は、学校・学年だよりやホームページなどで学校の様子を分かりやすく伝えていると思いますか。	38%	56%	6%	↗	94%	
	4 学校は、授業や行事を通して体力を向上させるための取り組みをしていると思いますか。	40%	54%	4%	←	95%	
	5 学校は、家庭や地域の声を受け止め、適切に対応していると思いますか。	35%	60%	3%	←	96%	
	6 学校は、それぞれの子どもたちに応じた配慮や支援を行っていると思いますか。	37%	57%	5%	↗	94%	
お子さんについて	7 お子さんは、「家庭学習の手引き」に示したような学習習慣がついていますか。	19%	53%	21%	8%	↗	72%
	8 お子さんは、家族や地域の人に対してあいさつができていますか。	30%	51%	14%	5%	←	81%
	9 お子さんは、「こんな海蔵っ子になろう」や家庭での約束やきまりを守っていますか。	18%	66%	12%	4%	↗	84%
	10 お子さんは、「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣がついていますか。	45%	38%	13%	4%	↗	83%
	11 お子さんは、下校後や休日に外で遊んだり運動したりしていますか。	38%	34%	19%	9%	↗	72%
	12 お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	57%	39%	4%	←	95%	

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【保護者アンケートの考察及び今後の取組】

- 1「学校は分かりやすい授業を行っていますか。」 4「学校は、授業や行事を通して体力を向上させるための取り組みをしていると思いますか。」 1については、昨年より1%、一昨年より1.8%上昇しました。4については、0.7%上昇しました。1については、授業参観の回数が減ったため、「分からない」の回答が約8%あったものの、オンライン授業等の取組についてご評価いただけたのだと存じます。本校では、見通しの持てる授業展開や板書の工夫に力を入れていきます。今後もICTも活用して授業づくりを大切にしていきます。
- 2「学校は自分を大切に思う自尊感情や他人を思いやる優しい心」については、昨年度とほぼ同様でした。今後も、「特別な教科道徳」をはじめとして、学校生活全体を通して人権教育や仲間づくりに力を入れていきます。
- 3「学校は、学校・学年だよりやホームページなどで学校の様子を分かりやすく伝えていると思いますか。」については、2.4%上昇しました。今年度は「夏休み作品展」をYouTubeで配信することができました。学校ホームページでは、毎日、子どもたちの様子を配信しています。今後もHPやたよりなど、情報を発信していきます。
- 5「学校は、家庭や地域の声を受け止め、適切に対応していると思いますか。」については、昨年度より1.2%上昇しましたが、「分からない」の回答も約10%ありました。今年度は、グーグルフォームを活用することにより、オンライン接続テストやオンライン時健康観察、学校評価などで、ご家庭からの具体的なご意見を聞くことができ、ご協力いただいたことに感謝しております。学校評価でいただいたご意見については、裏面にて回答しています。
- 6「学校は、それぞれの子どもたちに応じた配慮や支援」については、昨年度より4.2%上昇し、約94%の高い評価をいただきましたが、「分からない」という回答が約10%ありました。今後は、支援や配慮についてのさらなる発信をしていきます。
- 7「『家庭学習の手引き』に示したような学習習慣」は72%と昨年度にくらべ3.7%減少しました。年度初めに配付しております「家庭学習の手引き」を中心に、家庭学習の効果的な進め方や意欲を高める評価の仕方を学校と家庭で共有し習慣づけていきたいと考えます。
- 8「家庭や地域の人へのあいさつ」 9「学校や家庭での約束やきまり」については、1.2%上昇、9は1.1、4%上昇しています。特に挨拶においては、学校評価にてたくさんのご意見をいただきました。裏面にて回答いたします。9については、学校だけでなく家庭や地域でもきまりを守って気持ちよく安全に過ごせるように子どもたちの行動に地域全体で目を配り、指導していかなければならないと感じております。
- 10「お子さんは、「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣がついていますか。」 11「下校後や休日に、外で遊んだり運動したりしていますか。」については、10は3.3%、11については4.3%と大きく減少しました。社会の現状が少なからず影響していると考えられますが、学校においては、運動量の確保がますます重要であると考えます。体力向上の指導や、楽しい外遊びの紹介などを実践してまいります。

【アンケート結果を踏まえ、学校運営協議会では次のような意見が上がりました。来年度に役立てていきます。】

- オンライン授業やICT活用も含め、1年間の授業の様子や子どもたちの様子を見せていただいた。教職員の協力と工夫で充実した授業づくりができていたと感じることができた。
- コロナ禍で様々な制限があったが、そのような中でも実施することのできた行事や活動がたいへん有意義であったことが、子どもたちの表情から感じ取れた。今後も、PTAと地域と学校が協力し合って進めていきたい。
- 「あいさつ」の評価が下がっているが、形からではなく、心からの挨拶や当事者意識を持つてのお礼ができるように指導してほしい。そのためには、大人も自分から声をかけることを心がけたい。また、大人は子どもからの挨拶がうれしいことを伝えてほしい。
- 下校時に、「歩行者優先」という意識で飛び出していく子を見かけることがある。地域と学校で連携して登下校の安全指導に心がけたい。
- コロナ禍とタブレット使用の影響で夜更かしや不規則な生活になりがちなお子もいる。視力低下も心配される。また、外遊びが減ったことによる運動不足と体力低下も気になる場所である。子どもの生活習慣と健康も気を配ってきたい。
- 「自分の思いを伝える」の評価が下がっていたが、思いを伝えるには言葉を増やしていくことが大切である。そのためには読書がたいへん有効であるので、今後も、読書活動の充実にも努めていただきたい。

学校評価アンケートでいただいたご意見より

グーグルフォームでのご回答により、たくさんのご意見を集約することができました。主なものを紹介するとともに、学校の考察も述べさせていただきます。

登下校の安全や挨拶について

「下校時に、横断歩道への飛び出しを見かける。」「登下校で、複数人で横に広がっている姿があるので気をつけてほしい。」「ヘルメットをかぶっていない子が多い。」「朝の登校時、挨拶がほとんどないのが寂しい。」「旗当番をしているときに挨拶をしない子が多い。」「止まってくれた車に対してのあいさつやおじぎがない。」「ルールとマナーが当たり前に見える海蔵っ子になってほしい」

学校外での姿を教えてください、ありがとうございます。セフティネットや旗当番の方のおかげで子どもたちは安全に登下校ができております。地域の方の思いを子どもたちにもっと知らせ、「(車を)止めてもらうのが当たり前」「(横断歩道で)止まってくれるのが当たり前」という意識を変える取組をこれから強化していかなければと感じました。また、挨拶については、これまでの「自分から」に加え、今年度は「礼」を加えた指導をしておりますが、徹底できていない現状があります。児童アンケートでも保護者アンケートでもマイナスの結果が出ておりますので、全校で指導を強化していきます。下校時の飛び出し等の安全面においても、下校指導を強化する等、対処してまいります。

海蔵っ子走ろう会について

「走る距離が短くなったのはなぜですか。」「昨年度までの距離の方がよかったです。」「距離が長い方が、分散して見学できます。」「試走はあったほうが良いと思います。」「三年生以上が男女別なのはなぜですか。すべて、男子が先に走るの、ジェンダー感に影響を与えそうです。」

距離が短くなったことについて説明が不足しており申し訳ありませんでした。体育で行っている授業では、学習指導要領(国の指針)に沿って、どの学年も「5分間」の持久走で、走った距離の計測を行っております。「走ろう会」では、持久走に合わせた距離に変えました。また名称を変えたのには、海蔵地区の子どもたちが、生涯スポーツとして海蔵川を楽しんで走れるようにとの配慮もあります。

試走については、当日と同じだけの人員の確保が難しく安全面の保障が難しいことから、下見としてコースを歩く活動で、見通しを持って本番にのぞめるように配慮しています。

男女の出走順については、変更していきます。レースについては、男女の体力差を考慮して決めています。今後検討していきます。

給食後のほみがき

「虫歯予防のために、食後に歯磨きをしている学校が増えています。検討をお願いします。」

感染状況もあり、十分な蛇口の数も無いことから、一斉の歯磨き指導は難しい状況です。ただ、食後の歯磨きを自主的にすることは可能ですので、ご家庭でご検討ください。

配付文書について

「行事予定や持ち物などが、いろいろなお便りに書いてあって分かりにくいです。」「配付プリントは、可能な限り、ペーパーレス化を進めていただきたいです。」

来年度より、すぐメールに代わる新たな連絡システムが導入される予定であり、保護者と学校間の連絡もICT化が進みそうです。ただ、これまで、メールが即時に届かないご家庭があったことや、今回のフォームによる回答率が87%であったことなどから、文書と併用して、分かりやすい内容になるように工夫していきます。

その他 励ましや感謝のお言葉も含め、本当にたくさんのご意見をありがとうございました。

「運動会では、限られた時間の中で工夫されてたくさんの種目を見ることができました。感謝します。」「体育では、もっとハードに、お互いが切磋琢磨して競い合わせることも大事なと思います。」「オンライン授業は、一方通行の授業では集中力が途切れることがありました。1日1回はクラスごとの活動があるといいと思いました。」「学校アンケートでは、学校の話子どもとしていないことに気づかされます。」「上級生との活動を通して、お兄さんお姉さんに優しく接してもらい、お友だちもたくさん出来て、毎日、楽しく学校に通っています。」